

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
民法Ⅱ	照井 遥瑛	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	この授業では、民法のうち、債権について一般的に規定している「債権総論」と呼ばれる部分を取り扱います。「債権」という言葉は聞き慣れないかもしれませんが、スーパーでお買い物をするとき、他人からお金を借りるときなど、私たちの日常生活には常に何らかの債権が発生しています。この授業を通して、民法は日常生活に密接に関わっているというイメージをさらに深めてほしいと思います。債権総論は抽象的な条文が多いので、初学者でも理解しやすいように、具体的な事例をできるだけ多く取り上げ、それに即して基本的な事項や学説・判例を解説します。						
到達目標	①債権総論の基本的な概念、重要な条文、主要な法的問題についての知識を身に付け、説明できる。 ②日常生活で法的問題に直面したときに、それに適用すべき民法の条文とそれによって想定される結果について、自分の考えを論理的に説明できる。						
回	学習内容						
1	ガイダンス、債権と債権法、債権総論とは						
2	債権の目的						
3	債権の種類						
4	債務不履行とは						
5	履行の強制						
6	損害賠償①：債務不履行による損害賠償の要件						
7	損害賠償②：債務不履行による損害賠償の効果						
8	債権者代位権						
9	詐害行為取消権						
10	連帯債務						
11	保証債務						
12	債権譲渡						
13	債務引受						
14	弁済と相殺						
15	期末試験（60分）、試験終了後に解説（30分）						
予習内容 復習内容	予習：教科書の該当箇所に目を通すこと。 復習：教科書、自作ノート、授業資料を再確認し、授業内容に対する理解を深めること。						
教科書	生田敏康ほか『民法入門』（法律文化社、第2版、2021年） 最新年度版の小型六法（「ポケット六法」や「デイリー六法」など） 授業ではパワーポイントを用いて解説します。スライド資料は事前にオンライン上で配布します。						
成績評価	出席時に提出するレポート内容（40%）、期末試験（60%）で成績評価を行います。成績評価方法の詳細は初回講義の時に説明します。						
実務経験							
その他 特記事項	小型六法は最新年度版のものを必ず持参してきてください。予習の段階では理解しにくいテーマが多いと思いますので、復習を丁寧に、かつ時間を掛けて行うようにして下さい。						